

冬山(横尾尾根～槍ヶ岳)

L : 花村、坂野、大山

12月30日(木) 曇り/雪



予定より一日遅らせて入山。

どんより雲で雪もちらつく。

横尾まで、林道のトレースはついてきたが、林道を避けて河原に下りるあたりトレースは消えており、林道に戻るためにラッセルとなる。

一日目は横尾山荘の冬季小屋で終了。

12月31日(金) 曇り/晴れ



下半部の核心の岩場

尾根末端のコルに取り付く。4回目の横尾尾根にして初めてトレースが付いている。『岳人』掲載効果かと話しながら進む。所どころ埋まっている箇所はあるものの、効率よく進むことができた。

左写真の岩場のところで下ってくる拓殖大学チームとすれ違う。学生にしては下山が早いと思ったが、後に箱根駅伝の応援かと推測する。

午前中のうちに大ギャップの下るところまで至るが、天気がどうなるかわからないのでここで終了。

自分たちの後に、横尾の冬季小屋で一緒だったチームの先行がテント場付近の尾根を直登してきたが、その後、後続のメンバーが滑落したという情報がもたらされて戻っていった。大事ならしいが、その後彼らは撤収したもよう。

テントに入った後は、雪が降ったりまた晴れたりの繰り返しだった。

1月1日（土） 晴れ



朝方、周囲はガスっているが、空は明るく、今回初めて大ギャップへと下る。前方に、上り返す斜面が大きく見える。

コルからの登りは木登りだったりヤセ尾根を塞ぐ岩を巻き込んだりして行き、降雪でトレースの埋まったところはラッセルして進む。



傾斜が落ちて尾根が広くなった辺りで一旦ワカンに履き替えるが、樹林がなくなると雪面がクラストしてきたため、再びアイゼンに履き替える。



横尾の歯。

ロープを2ピッチ出して通過する。



横尾の歯を越えると風も強まり、テント設営できそうな箇所を探しながら進むうち、ちょうどテントがすっぽり入りそうな岩小屋があったためそこで行動終了。しかし風の当たりは強く、一晩中テントをたたかれてよく眠れなかった。

1月2日（日） 晴れ



昨日は見えなかった槍ヶ岳が朝から美しい。天狗のコルを越えて稜線までの最後の登り。稜線直下で幕営している人たちがおり、尾根末端からのトレースは、彼らと拓殖大学のチームとでつけてくれたものと判明する。

稜線に出て横尾尾根を終了。



ここから稜線を進むが、中岳の登りでかなり消耗（ラッセルは坂野任せだったにもかかわらず…）、槍ヶ岳を間近に見ても登高意欲がわかなかったが、大喰岳で止まりもせずに先へ進んで行くリーダー&坂野…。ついて行くしかない。

コルに荷物をデポして槍の肩へと登る。



槍の肩から槍ヶ岳にはトレースはなく、様子を見ながら進んで行くが、雪面は固くクラストしているもののアイゼンの前爪はしっかり刺さるので、慎重に登り山頂に至る。



山頂のリーダー&坂野



大喰岳へ上り返して大喰岳西尾根を下る。途中、登ってくる人々あり。

高度を下げるほどにガスの中に入り、雪も降り始め、つぼ足の深いトレースに足を取られながら、途中からワカンに履き替え、リーダーが埋めてくれたトレースをはるかに遅れて一人踏みながら槍平へとたどり着く。

1月3日（月） 晴れ



槍平の夜は静かによく眠れた。

快晴の中を下山。槍平からのトレースは安定していて歩きやすかった。

今年は穂高平の干支の雪だるまを見れてよかった。

(タイム)

12/30 8:08 釜トンネル～9:42 上高地バスターミナル～10:45 明神～11:49 徳沢～13:32 横尾

12/31 7:07 横尾～7:31 尾根に乗る～11:15 大ギャップ手前

1 / 1 7:18 テント場～7:53 コル～11:53 横尾の歯～13:27 ロープ回収～14:12 テント場

1 / 2 7:11 テント場～7:41 天狗のコル～8:55 稜線～10:02 中岳～10:53 大喰岳～11:35 槍の肩～12:06 槍ヶ岳～13:22 大喰岳～16:23 槍平

1 / 3 8:05 槍平～8:44 滝谷避難小屋～9:45 白出沢～10:24 穂高平～11:12 新穂高 BT